

歴史愛好会 11月 南区に残る「塩付街道」を歩く

総務委員会 広報

11月28日（金）午前9時45分に南区役所に集合し、歴史愛好会の鏡味代表の案内で南区に残る「塩付街道」と関連施設を巡りました。

まずは、丹八山公園です。実はこの山は大変なところだそうです。ここで、いつの時代かは解らないのですが、浦島太郎が生まれ、飛鳥時代には壬申の乱平定のための兵がここから出され、平安時代には平将門の首が埋められ、熱田神宮の草薙の剣が盗まれたときのゆかりの土地・・俗説もあると思いますが、こんなに沢山のエピソードを持つ場所がこの南区に、しかも区役所の近くにある事を初めて知りました。山頂までは上りませんでしたが、沢山の石碑があるそうです。

丹八山のすぐ手前の人工的に削られた場所には、かつては市バスの停留所があり、栄行のバスが出ていたそうです。幼少の頃の鏡味少年はお母様とそのバスに乗り「オリエンタル中村」へお買い物に行ったそうです。『塩付街道 左 知多郡へ渡る 右 信州 善光寺』側面に『星崎ノ千竈塩ヤ越後塩ノ運ビ納メガ塩尻』と書かれた石碑がありました。

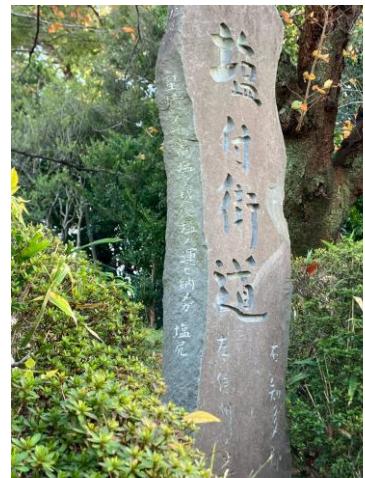
乗用車が1台ギリギリで通れる道を進むと、大きなお寺が数件あります。お寺は丸い石の石垣の上に建てられていました。浜に流れ着いた石は角がなく「ぐり石」と呼ばれています。



細い道が続く



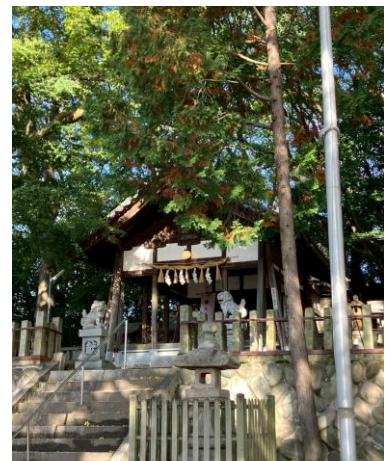
丸い石で作られた石垣



笠寺小学校は星崎城の跡地に建てられている事を初めて知りました。

本丸は現在の笠寺小学校にあり、二の丸、三の丸、大手門は校門南一帯の住宅地にあったそうです。

星宮社の造られたのは600年代で、星崎城築城のとき、この地に移したと伝えられているそうです。かつては、星崎の岬の最南端で、住人の常夜燈が灯台の役目を果たしたそうです。境内の中には「上・下知我麻神社」があり、熱田神宮内の両社も、もとはここにあったものと言われているそうです。ここにはこの地に塩づくりを教えた人を祀っているそうです。



喚続神社をたずねました。その昔、神社の西の海岸堤防が何度も決壊したそうです。そこで伊勢神宮へ祈願して、何回ものお祓いをうけたところ、神徳があり堤防が完成したそうです。そのため社殿は伊勢神宮へ向けて=西向きに建築されたそうです。社宝に日本で2番目に古い隕石があります。この隕石は国立科学博物館で鑑定され『本物』と証明されているそうです。

おまけですが、神社の隣には、蕎麦で有名な「紗羅餐」の本店でした。

最後に隕石の落ちた証明の碑に案内して頂きました。『隕石』がはるか昔にこの地に落ちた…昔の暮らしや様子に思いを馳せ、ロマンを感じました。今日、巡った「道」や「場所」は鏡味代表の案内なしでは、訪れる事が出来ません。名古屋に住んで約50年になりますが、スタートから最終目的地まで「へえ～」「ふう～ん」「そーなんだ！」の連続でした。また、南区には価値のある、素晴らしい場所が沢山ある！！と思いました。こんな素敵なかわいらしい街に暮らすことが出来、

幸せ！と思いました。帰途は市バス

(基幹バス)に敬老バスで乗車し、

約90分かけて歩いた行程を10分

で南区役所まで戻りました。

楽しく学ぶ事ができました。

